



ルリーロ福岡は「2人の共同キャプテン」だと伺いました。2人がキャプテンに就任することになったのは、どういう経緯だったんでしょうか？

**西村** 7月にスタートミーティングがあったんですが、その10分くらい前に呼ばれて、後藤さんと田代さんから「キャプテンやってくれないか？」と言っていたきました。正直、まったく予想外でびっくりしましたね。自分はまだ若いし、自分よりすばらしいキャリアの選手がたくさんいましたから。でも、断る理由はありませんでした。まちがいなくこれからの自分のためになると思い、やらせてもらうことを決めました。

**安田** ぼくも最初に伝えられたときはびっくりしました。そのとき、できたばかりのチームのキャプテンは難しいだろうなと思う一方で、やりたいとも思いました。経験して得るものがすごくあるだろうな。ぼくは他の選手に比べると高いレベルでのプレーの経験はありません。でも、トップレベルでプレーしたいと思ってこのチームに入団することを決めました。今後、ぼくと同じ気持ちでチームに入団してくる人もいる中で、そんな選手とトップレベルの選手の間に入ることが、自分にしかできないキャプテンの役割だと思えました。

練習しながら、仕事もやるというのがルリーロ福岡のスタイルです。仕事で印象に残っていることなどがあれば教えてください。

**安田** ぼくはラグビーと仕事を両立させるという部分は、前所属のチームでもやってきたことだったので、違和感はありませんでした。しかし、ラグビーをあまり知らない職場のみなさんに対して、自分のラグビーへの本気度を伝えるのはすごく難しいなと日々感じているところです。

**西村** ぼくは現在、ルリーロの営業活動で地域の会社を訪問させていただいています。それ以前は、浮羽実館高校の臨時職員として働いていました。その仕事で、現在の営業の仕事につながっている実感があります。当時の業務内容のひとつに学校のポスターを地域の企業さんに配るというものがありませんでした。配りながら、ルリーロ福岡の軽い宣伝も一緒にやらせていただきました。そうやってコミュニケーションを取っていると、地域の人たちと交流が増えて、チームへの期待や応援といったつながりを作ることができました。そのつながりやコミュニケーションなどが現在の仕事にも活かしていると感じています。

最後にラグビーの話に戻ります。シーズンを経て、トップキュウシュウAリーグを優勝。しかし、3地域対抗戦では敗戦という結果でした。今シーズンの感想を教えてください。

**安田** いい終わり方だったと思います。リーグ優勝したけど、最後の負けで自分たちの現在地が知れたからです。選手の取り組み方も変わっている気がします。長期的に見れば、ルリーロがよりいいチームになるためのシーズンになったと思います。キャプテンらしいことはしてないですけど、チームの支え方みたいな部分を意識したシーズンでした。たとえば、ジムで会った選手と積極的に話したりとか、練習後に試合に出れていない選手と一緒に走ったりとかそんなことをしていました。

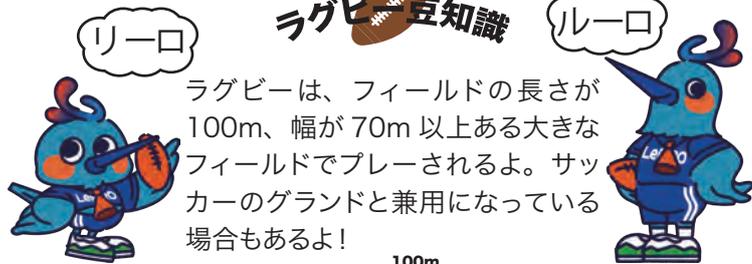
**西村** 去年は選手がだれもないところからのスタートでした。なので、選手が来てくれたことや、リーグに参入できたことなど、今年チームとして活動できたことに一番ほっとしたというのが正直な感想です。マーカーもない、ボールもない。何が最優先にいるかをノートに書くところからぼくの今シーズンが始まっています。そのうえで、トップキュウシュウAリーグ優勝という結果がついてきたというのはさらに良かったと思います。そして、自分たちの目指すべきところがすごく明確になったシーズンでした。これは、サポーターのみなさんにたくさん応援していただいて、一緒に戦ってくれたからこそ感じられたと思っています。最後、負けはしましたけど、プラスでしかないな。とにかく、今年のことは忘れないだろうなと思います。自分の人生の中でも、特に印象的な1年でした。



**西村光太** (共同キャプテン) ポジション：ナンバーエイト  
日中はうきは市地域おこし協力隊の仕事とチームの営業活動を行う。

**安田直樹** (共同キャプテン) ポジション：スクラムハーフ  
フランカーにも挑戦中。株式会社キャニコムに勤務。

### ラグビー豆知識



ラグビーは、フィールドの長さが100m、幅が70m以上ある大きなフィールドでプレーされるよ。サッカーのグラウンドと兼用になっている場合もあるよ！

